

留学体験記

オーストラリア・西オーストラリア大学で過ごした 9 か月

JSAF FLAP 留学レポートより

「海外の人も同じ人間。年齢、性別関係なく、対等に関係を築くことができると分かりました。」

留学先	西オーストラリア大学(University of Western Australia／オーストラリア・パース)語学プログラム
在籍大学	獨協大学 外国語学部 英語学科 4 年
留学期間	2024 年 8 月～2025 年 5 月(9 ヶ月)

※本体験記は派遣生の FLAP 留学レポートをもとに再構成したものです(保存用・氏名入り。公開時には氏名を削除してください)。

1. 留学の目的

今回の留学の目的は、英語力の向上と、海外の教育を知ることでした。9 か月間のプログラムを終えて、この目的は達成できたと感じています。

2. 語学学校と授業

■ 学校とクラスの概要

項目	内容
学校	西オーストラリア大学(オーストラリア・パース)の語学プログラム(CELТ)
学校の学生数	約 100 名(うち日本人は約 20 名・20%)
クラスの平均人数	約 12 名(うち日本人は約 4 名)
クラスメイトの国籍	韓国、台湾、中国、タイ、インドネシア、サウジアラビア、UAE、ロシア、イタリア、フランス、ドイツ、スペイン、ハンガリー、チェコ、トルコ、メキシコ、ブラジル、アルゼンチンなど
受講したコース	Language and Communication Essentials／English for Academic Purposes(EAP)
クラスレベル	開始時:Level 4 → 最終:EAP
教材	教科書、ワーク、プリントなど
教師・スタッフ	5 回ほどクラスが変わったが、どの教師も優しく楽しく学べた。スタッフも親切でとても良い印象

キャンパスは自然に囲まれた環境で、落ち着いて授業を受けることができました。設備も整っていて、特に不満を感じることはありませんでした。メインキャンパスまではバスで 10 分ほどなので、メインキャンパスのイベントにも簡単に参加できました。

学校では毎週様々なイベントが催されていました。海外の友達を作りたい方には、ちょうどいい学校だと感じています。

■ 授業の内容

面白かったのは発音の単元です。発音の練習を通して、母国語の違いによってそれぞれ苦手な発音も異なることに気づき、興味深かったです。

日本の授業と違うと感じたのは、教師がフレンドリーであることです。生徒と一緒に考える時間もあり、より積極的に参加することができました。生徒が主体の授業であると感じました。

■ がんばったこと

特にがんばったのは、1 つの TED Talk についてグループで話し合うアクティビティです。わかりやすい資料と説明を考えることに力を入れました。一方で、相手の伝えたいことを理解し、自分の意見をまとめて相手に伝えることの難しさも感じました。特に TED Talk の内容が難しい場合は、話し合いを続けるのに苦労しました。

3. 語学力の伸びと工夫

スキルごとに苦労した点と、自分なりに工夫した点は次のとおりです。

スキル	苦労した点	工夫した点
リスニング	アクセント、速度	オーギーのアクセントに慣れる。わからないときは聞き取れた単語から推測する
スピーキング	パツと言いたいことを言うこと	とにかく練習
リーディング	長文を読むときの集中力	身近なものと関連付けながら読む
ライティング	スペル	とにかく練習

勉強に役立った方法は、動画のシャドーイングです。今まで海外の方と話すとき、緊張して構えて接してしまっていたのですが、それがなくなりました。まだまだ聞き取れないことやわからないこともあります。その時はすぐに聞く癖がつかしました。留学当初から比べれば、英語力は少しは向上したのではないかと思います。

4. 滞在先と生活

■ 滞在先と食事

滞在先はアパートメントでのホームステイで、2 人部屋でした。バス停まで近く便利で、シティまではバスで 10 分。通学時間はバスで約 70 分、通学費は月に約 50 ドルでした。

ホストは 30 歳の男性で、優しく、様々なことでサポートしてくれました。ルールは、各週で部屋全体の掃除をすることでした。

食事は自炊で、好きな時間にキッチンで料理ができました。パスタが安く、いつも食べていました。

■ 1 週間の過ごし方

曜日	過ごし方
月・火・木・金	9:00～12:45 授業、シティで昼食、自由時間
水	9:00～12:45 授業、13:00 メインキャンパスで昼食、16:00 クラブ、自由時間
土・日	シティで昼食、自由時間

一番の息抜きは、ゴルフ場の打ちっ放しでした。日本の家族や友達とは、月に 1 度くらいの頻度で連絡を取っていました。

■ 街と治安

学校は閑静な住宅街にあり、落ち着いた雰囲気でした。キャンパス内外ともとても安全で、特に危険を感じることはありませんでした。

おすすめスポットは、スワンリバー沿いの散歩コースです。ブラックスワンを見ることができます。

■ 交友関係

友達とは一緒に昼食を食べたり、シティで遊んだりしました。多くの友達が学校の後にすることがないので、遊びに誘ってみるとよく OK をもらえました。

メインキャンパスの日本クラブでは、毎週会話のイベントが開催され、そこで現地の友達を作ることができました。

5. 課外活動と旅行

課外活動では、学校主催のバスツアーや美術館ツアーに参加しました。バスツアーでは語学学校の友達と観光スポットを回り、親交を深めることができました。

留学生活で最も良い思い出は、現地の友達の家に行ったり、旅行ができたことです。大変だった思い出は、特にありません。

6. 費用と持ち物

■ 費用

項目	金額・内容
生活費(月のお小遣い)	3 万円ほど／月
通学費	約 50 ドル／月

■ 持ち物

- 現地に持って行って便利だった物:圧縮袋
- 日本から持ってくれば良かった物・持ってこなくても良かった物:特になし

7. 留学を終えて

英語力の向上と海外の教育を知るとい留学の目的は達成できました。留学を通して成長したと感じるのは、自分にある程度自信がついたことです。

出発前と考え方が変わったのは、海外の人も同じ人間であるということです。年齢、性別関係なく、対等に関係を築くことができることが分かりました。これからは、今回の留学の経験を活かして、英語の教員を目指します。

困ったことやわからないことがあれば、JSAF にメールをするようにしていました。メールの返信も早く、わかりやすく手厚いサポートをしていただけました。

8. 後輩へのメッセージ

「日本人のブランドは大きなアドバンテージなので、臆せずいろいろな人とコミュニケーションを取った方がいい。」

本体験記は、JSAF 派遣生による FLAP 留学レポートをもとに再構成したものです。